

第14回 卒業証書授与式

3月1日(水)、第14回卒業証書授与式を挙行了しました。卒業生の20名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。柳校長からは、式辞の中で「失敗を恐れず勇気を持って立ち向かう力と、失敗してもめげずに失敗から学ぶ力を一層身につけて欲しい。」「誰かの幸せのために力を尽くし、誰かの喜びと幸せを見出せる生き方。この真心を尽くすという生き方こそ何よりも大事である。」と、はなむけの言葉がありました。また、答辞では卒業生代表の有松誇子さんが、コロナ禍で多くの制約があった中で精一杯楽しんだ学校生活での思い出を語るとともに、在校生に向けて、「これから何度も大きな壁にぶつかることと思います。海南下津高校の先生方は時には厳しく、時には優しく私たちを見守り導いてくださいます。そして、友達、家族の存在を思い出し、困難に立ち向かってください。」とアドバイスを送ってくれました。また、「本当に多くの人に私たちは支えられているのだと実感しました。私は海南下津高校で3年間を過ごせたことを本当に良かったと思います。」「これまで私たちを見守ってくれた家族には、素直になれず数々の心配を掛けたこともあったと思います。そんなときでも、深い愛情で優しく見守ってくれていたことを、心から感謝しています。」とお世話になった方々への感謝の気持ちを伝えてくれました。本来であれば、在校生も出席して卒業証書授与式を挙行するところですが、感染症対策のため、生徒会の4名が代表で出席する形となりました。直接、「おめでとう」「ありがとう」とお祝いの言葉や感謝の言葉を伝えられたかと思いますが、叶わなかった分、生徒会主催で「卒業生を送る会」が開催され、在校生の皆さんのビデオメッセージが流したり、玄関前の掲示板に風船に書いたメッセージが飾られたりしました。在校生の皆さんの想いはきっと卒業生に届いたことでしょう。また、「卒業生を送る会」では、卒業生の3年間の思い出を綴った記念スライドも上映され、たくさんの思い出をかみしめながら、拍手の中、卒業生は学舎を巣立っていきました。在校生の皆さんは、ラスト1年、卒業生が紡いでくれた海南下津高等学校の素晴らしい伝統を引き継ぎ、日々精進していきましょう！改めて、
～ 卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。 みんなにサチアレ!! ～



卒業生体験講話「ようこそ先輩」

3月22日(水)、進路選択の参考にと、本校卒業生（4期生萬崎あかねさん、10期生瀧本鈴さん、11期生寺西瑠菜さん、13期生河口悠夏さん）を招いて、進学先、就職先での生活や高校時代の思い出などを話していただきました。4人のお話を聞かせていただき感じたことは、『コミュニケーションを大切に、本当に好きなものは何なのか、高校生の時から色々なことに取り組んでおく』ということでした。失敗を恐れず何事にもチャレンジしましょう!!



養護老人ホーム訪問

毎年養護老人ホームを訪問して、高齢者の方と交流会を開いていましたが、今年度もコロナ禍ということで交流会が中止となりました。そこで、2年生食物科のみんなが作った「おはぎ」を、3月17日(金)の放課後、代表として学校家庭クラブ役員の南葵さんと山下愛菜さんが養護老人ホーム橋寮を訪問し、プレゼントしました。皆さんからはお礼の言葉と笑顔をいただきました。

